

平成 26 年度 J A T E セミナーの開催模様

一般財団法人 電気通信端末機器審査協会

当協会では平成 26 年 11 月 11 日（火）、主婦会館プラザエフ（千代田区）において賛助会員の皆様を対象にセミナーを開催し、次の 2 講演を行いました。

I 「ICT 機器に関する海外の動向：新興国で台頭する新興地場メーカーと新たなコミュニケーションツールとしてのメッセンジャーアプリ」

（株）情報通信総合研究所グローバル研究グループ 副主任研究員 佐藤 仁 氏

II 「今年度の電気通信事業法改正について」

総務省総合通信基盤局 電気通信技術システム課長 塩崎 充博 氏

同 課長補佐 寺岡 秀礼 氏

講演 I の佐藤講師からは、社会のグローバル化の高度進展の中、新興国の台頭、特にスマートフォンの地場メーカーの急速な台頭が著しいこと、また、新興国においては、SIM カードの氾濫や 3G よりも急速な Wi-Fi の普及を背景に、メッセンジャーアプリが大人気となり競争も激化していることについて内容をご紹介いただきました。

講演 II の塩崎・寺岡両講師からは、今年 6 月に成立した電気通信事故の防止等のための電気通信事業法の改正に関して来年 4 月に施行に向けて準備を進めている省令改正等の内容、及び、現在見直し中の「SIM ロック解除に関するガイドライン」についてご紹介いただきました。

講演後のアンケートでは、次のように多数のご感想、ご意見をいただきました。

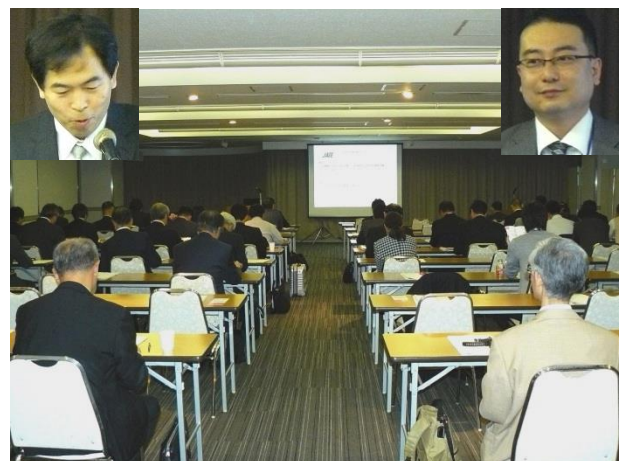
講演 I 関係：「日本の様子だけでは Apple 対アンドロイド系の競争しか見えないが、新興国では各国それぞれのメーカーが競っている様子が実感を伴って理解できた」「端末機器について、市場視点で話が聞けて感謝。目に見える騒ぎとは別にマーケットの動きが分かった」「写真や数値など分かりやすく、最新の動向が良く理解できた」「アジア各国の人口ピラミッド、月額賃金、平均年齢などの情報が有用と感じた」等

講演 II 関係：「電気通信事業法の改正ポイントの概要について理解できた」「総務省担当者の生の説明が聞けて良かった」「電気通信主任技術者や統括管理者の責任が重く、設備に対する認識が深くなり、故障が減ることが期待できる」「電気通信主任技術者に対する講習実施は良い」「SIM ロックの解除に関する話が非常に良かった」等

以上のほか、今後のテーマに取り上げてほしい事項についても多数のご意見をいただき、当協会ではこれらを参考に、今後のセミナー開催に反映してまいります。



（株）情報通信総合研究所グローバル研究グループ
副主任研究員 佐藤 仁 氏



総務省総合通信基盤局 電気通信技術システム課
課長 塩崎 充博 氏(左)
課長補佐 寺岡 秀礼 氏(右)